

日本の「古代布」

# 羽越しな布



- 関川：JRあつみ温泉駅から車で約30分
- 雷：JR府屋駅から車で約30分
- 山熊田：JR府屋駅から車で約30分

羽越しな布振興協議会(事務局 関川しな織センター内)

URL : <http://shinafu.jp>

～産地の紹介～

◇山形県

◎関川しな織協同組合

〒999-7315 山形県鶴岡市関川字向222

TEL 0235-47-2502 FAX 0235-47-2333

◇新潟県

◎さんぼく生業の里企業組合

〒959-3917 新潟県村上市山熊田325

TEL/FAX 0254-76-2115

◎雷しなばた保存会

〒959-3916 新潟県村上市雷434

TEL 0254-76-2825

古代布「羽越しな布」は、日本最古の織物といわれています。日本有数の豪雪地帯である山形県鶴岡市関川と新潟県村上市山熊田・雷は、その伝統を今日に受け継いでいる唯一の地域です。縄文の昔から、人々は脈々とその手で育み、遙かな歴史を越えて古代の伝統を今に伝えていきます。

しなやかで丈夫な、風格のある「しな布」は、世界でも希少な織物として脚光を浴び、今日も山里の人々の手で生産されています。

「羽越しな布」は、科(シナ)の木、オオバボダイジュなどの木の皮の繊維を糸にして織られ、使われるほどにしなやかな風合いとざっくりとした味わいが増してきます。

その製法は糸造りから織りまで22の工程を1年の歳月をかけて丁寧に仕上げます。

丈夫で水にも強く、天然の素材な手触りと色合いからは、あたかひぬくもりと深い味わいが伝わってきます。



伝統マーク  
承認番号19-062

経済産業大臣指定  
伝統的工芸品には  
伝統マークを使った  
伝統証紙が貼られて  
います。

かつて日本全国にあった人々の暮らし…現代社会の中で失われた日本の原風景がここには存在し続けています。

せき がわ  
 ～関川～ 山形県鶴岡市



せき がわ  
 関川 しな織の里ぬくもり館



赤かぶのれん



ハンドバッグ



スリッパ

いかづち  
 ～雷～ 新潟県村上市



いかづち  
 雷 ふるさと会館



ショルダーバッグ



ブローチ(帽子)



ブローチ(雪椿)



帽子

やまくまだ  
 ～山熊田～ 新潟県村上市



やまくまだ  
 山熊田さんぼく生業の里



巾着



ペンケース



帯

いくつもの作業をふみ、連帯の手技が生み出した作品の数々。